

平成 28 年度第 1 回鹿児島市交通事業経営審議会 会議概要

○ 日程・場所・出席者

(日 程) 平成 28 年 5 月 30 日 (月) 13 : 30~14 : 40

(場 所) 交通局 3 階 第 2 会議室

(出席委員) 委員 9 名

(事 務 局) 交通局総合企画課

○ 議事・配付資料

- (議 事) (1) 平成 27 年度第 6 回経営審議会以降の経過及び平成 28 年度の経営審議会のスケジュール
(2) 平成 28 年度鹿児島市交通事業特別会計予算
(3) 交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成 27 年度実施状況

- (配付資料) 資料① 昨年度第 6 回審議会以降の経過及び今年度の審議会スケジュール
資料② 平成 28 年度鹿児島市交通事業特別会計予算
資料③ 鹿児島市交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成 27 年度実施状況

別 冊 平成 28 年度鹿児島市交通事業特別会計予算書

○ 協議の概要

(1) 平成27年度第6回経営審議会以降の経過及び平成28年度の経営審議会のスケジュール

	委員の主な意見・質疑等
	質疑応答なし

(2) 平成28年度鹿児島市交通事業特別会計予算

	委員の主な意見・質疑等
1	<p>(経常収支差引について) 27年度当初予算と28年度当初予算の経常収支の差引を比較した場合に、軌道事業は経常収支差し引きの黒字が少なく見積もられ、自動車運送事業はさらに赤字が増幅され、どちらも厳しくなるという見方がされているが、その背景について教えていただけないか。</p> <p>(事務局回答) 移転後の新施設に係る減価償却費の増が主な理由である。</p>

(3) 交通事業経営健全化計画重点取組項目等の平成27年度実施状況

	委員の主な意見・質疑等
1	<p>軌道事業について、運行の効率化のためのダイヤ改正について説明があったが、このダイヤ改正の効果については、乗客数などにおいてどういったものがあったか、わかっている部分を教えていただきたい。</p> <p>(事務局回答) 昨年5月以降、朝夕の中央駅経由鹿児島駅の便を増便し、また昼間についても、2系統についてこれまで7分間隔で運行していたものを6分間隔に変更している。4月～3月までの利用者数で見ると、前年度と比べて約2.6%増えている。</p>

委員の主な意見・質疑等	
2	<p>WiFi整備などのインバウンド対策が必須事項と思われるが、それに関して、27年度実施した取組み又は28年度実施予定の取組みはあるか。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>電車の車内表示は今年度、外国人を対象とした外国語表示を含め、全面的にリニューアルすることになっている。</p> <p>また、観光電車及び定期観光バスにWiFiを設置することを予算化しており、WiFiに繋がるとアプリケーションが起動して外国語で市内の景勝地や観光地の案内がなされるようなシステムを作ろうとしているところである。</p> <p>昨年度は、電車車内にパンフレットボックスを設置し、英語、韓国語、中国語で記載された観光案内のパンフレットを配置した。</p>
3	<p>外国人旅行者とのコミュニケーションの問題というのをよく聞かすが、タブレットの利用がかなり進んでいるように聞いている。これについての導入の検討は。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>電車だけの導入は難しいと考えている。観光交流局を含めて、行政も一体となって取り組むべきことであると考えている。</p>
4	<p>電車車内の表示が見にくかったりする。リニューアルするとのことであるが、もう少し利用者の視点に立って、分かりやすさというものを考えていただければと思う。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>今年度実施する電車の車内表示リニューアルは、企画提案方式により、専門の業者に、より良いデザインや表示の在り方、又は統一的なデザインなどを提案してもらい、その中で一番良いものを採用するというような形で行いたいと考えている。今までよりも、統一的で見やすい車内表示になると思われる。</p>

委員の主な意見・質疑等	
5	<p>桜島フェリーとの連携について、バスとフェリーが相互に連絡を取って調整をしているとあるが、桜島港にバスがついたその目の前をフェリーが出港するというように、ダイヤがうまくフェリーと接続できていないように思われることもある。もう少しうまく連携できないものかと思う。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>実態を調査させていただいた上で、通勤時間帯等においては出来る限り5分から10分以内のフェリー出港に対応できるようダイヤを見直していきたいと考える。</p>
6	<p>今後インバウンドはどんどん増えていくと思うが、数的に圧倒的に多いのは国内旅行者であり、外国語表記ももちろんであるが、地元の人や、国内旅行者が中央駅に降りたときに、何かワクワクするような仕掛けが欲しい。バスは民間事業者との乗り入れもあるので、「協議の場」が設置された場合には、そこでこのことを話し合っていていただいて、観光地鹿児島島の公共交通を、ワクワクするような乗り方が出来るものにしていてもらいたい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>民間バス事業者等との「協議の場」が設置された場合は、そこで利用者目線に立った、交通事業のあり方について協議したいと考える。例えばスマートフォンの利用者は、乗換案内などを検索することで、今いる場所から一番近いバス停や、一番近い発車時刻等を知ることが出来るが、そういったことが出来ない利用者もおられるので、もう少し親切な案内が出来ないものか、「協議の場」が出来れば、こういった内容も話題に出してみたいと思っている。</p>
7	<p>苦情が寄せられた場合は、どういう形で局内の共有及び苦情処理がなされているのか教えていただきたい。</p> <p>(事務局回答)</p> <p>苦情については、小さいものであっても交通事業管理者まで報告されるようにしている。苦情の出るところにニーズを感じるからである。個人を特定できるものについては、直接個人に指導を行い、また同時に組織として共有する必要がある事項については、組織でも共有している。</p>